

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：長久手市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価												
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員を始めとした商工会職員が、一般的に経営基盤が弱いとされる小規模等細企業を中心に訪問・金融・税務・労務等経営全般に関し相談を聴き、対応・指導をすることで経営の改善を図る。さらに業績向上につながる課題を把握しその解決のために対策を提案する。また創業予定者等経営全般に係る悩みを持った方達に対し相談窓口を設置し、経営に資する指導を行う。	・巡回指導 実企業指導件数 61件 年間相談指導件数 140件 非会員実企業指導件数 1件 年間相談指導件数 2件 ・窓口指導 実企業指導件数 328件 年間相談指導件数 1300件 非会員実企業指導件数 6件 年間相談指導件数 33件 ・創業相談指導 巡回 実企業指導件数 0件 年間相談指導件数 0件 窓口 実企業指導件数 11件 年間相談指導件数 26件 非会員実企業指導件数 1件 年間相談指導件数 1件 ・課題解決提案件数 31件 ・経営革新承認件数 3件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数			指標	課題解決提案件数			商工会職員による事業所への訪問と相談窓口の設置により、専門的な指導の実施や情報提供、機能の充実強化が図られ小規模事業者、会員事業所の問題点・改善点を提案できた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標数値・実施方法については現行どおりとし、実企業指導件数のUPに努める。	○	
					目標数値	1,134	実績数値		1466	目標数値	30					実績数値		31	A	A	現行どおり			現行どおり
																			目標達成度	必要性	実施方法①			実施方法②
																			A	A	現行どおり			現行どおり
記帳継続指導事業	商工会の職員が小規模等細企業等を対象に正しい記帳の仕方、決算・確定申告の指導を行い適正な税務申告に結びつける。また、経理の自主化を促し計数管理による経営力の向上に結びつける。	・期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 ・記帳指導事業所数 108件 ・指導延日数 485日 ・指導延回数 1,901回 ・確定申告書受付数 259件	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数			指標	商工会 確定申告書受付数			事業者の記帳事務の省力化を図り、期限内申告の適正化につながった。また、細部にわたる指導を行うことで複式簿記での青色申告特別制度の特典を受けていただき、試算表による指導分析を職員が行うことで経営力の強化支援になった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。1件でも多く事業所数を増やすよう努める。		
					目標数値	114	実績数値		108	目標数値	290					実績数値		259	A	A	下げる			現行どおり
																			目標達成度	必要性	実施方法①			実施方法②
																			B	A	現行どおり			現行どおり
講習会事業	小規模事業者にとって必要な金融・税務・労働等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図ることで、多様化する経営環境に対応するための柔軟な思考力を身につけ、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって有意義な講習会を開催した。 ・集団講習会 年13回 65人（うち小規模事業者 55人） ・個別講習会 年44回284人（うち小規模事業者 279人） 合計 年57回 349人（うち小規模事業者 334人）	小規模事業者	指標	講習会終了者数			指標	講習会開催数			経営に必要な知識の習得や経営改善・技術革新に役立つ情報の収集をすることができ地域小規模事業者の経営安定・発展を見込むことができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。更なる出席率の向上に努める。	○	
					目標数値	235	実績数値		334	目標数値	45					実績数値		57	A	A	上げる			上げる
																			目標達成度	必要性	実施方法①			実施方法②
																			A	A	現行どおり			現行どおり
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展に資する。	青年部、東尾張支部内の7商工会共同開催による活動推進研修会を開催。（6人参加）	小規模事業者を中心とする若手後継者等	指標	研修会への参加人数			指標	(達成度 %)			部員としての資質向上を図り、部活動の活性化につなげることができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。更なる出席率の向上に努める。		
					目標数値	5	実績数値		6	目標数値	実績数値					A		A	現行どおり	実施方法①	実施方法②			
																目標達成度		必要性						
																A		A	現行どおり					
若手後継者等育成事業	商工会女性部は、地域振興の協力者・推進者となるべく、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となる必要があることから、今般、東尾張支部商工会女性部部員を対象にセミナーを開催し、商工女性として必要な幅広い知識の習得を図り、地域商工業の持続的発展に寄与する。	商工女性としての素質を高め、知識を深めるため、東尾張支部商工会女性部活動推進研修会を開催した。 協定商工会女性部員参加者：72人 うち 8人 長久手市商工会女性部員	小規模事業者を中心とする女性部員	指標	セミナーへの参加人数			指標	セミナー参加者満足度			講師の実経験をもとにした「人生の価値」を、現在進行形の社会問題を変えて講演いただくことで、事業継続を目指すために女性経営者として地域の社会問題に真摯に向き合うことができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行通り実施するが、開催規模を再検討し参加人数も併せて検討する。		
					目標数値	13	実績数値		8	目標数値	80（％）					実績数値		98.6	A	A	下げる			現行どおり
																			目標達成度	必要性	実施方法①			実施方法②
																			B	B	現行どおり			現行どおり

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 長久手市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価											
若手後継者等 育成事業	講演会を通じて後継者としての素質を高める。 青年部全国大会に参加し全国の青年部員との交流により、多様性を備えた後継者としての素質を高める。 子ども達と青年部員・地域商工業者が協力して商店街を作ること、青年部活動や地域の事業者を知ってもらう。これにより地元での消費を喚起し、地域経済の発展に寄与する。 女性部全国大会に参加し全国の女性部員と意見交換をすることで、地域商工業の発展のための資質向上を図る。	知識を深めるため、講演会を開催。（11人参加） 商工会青年部全国大会に参加し、地域の違いや活動の差を知り視野を広げた。（2人参加） 子ども商店街や親子イベントでは、青年部活動・青年部員の自社、地域事業者のPRを図ることができた。（子供商店街）1回開催、7ヶショブ 4回、青年部員：13人、子ども：58人 （親子イベント）2回開催、青年部員：9人、親子：21組45人 商工会女性部全国大会に参加し、地域の違いを知り視野を広げた。（2人参加）	小規模事業者を中心とする若手後継者・女性部員等	指標	講演会への参加人数 （達成度 110.0 %）			指標	講演会参加者満足度 （達成度 113.6 %）			講演会を通じて生成AIを学び、今後の自社の発展の一助となった。 全国の青年部員との交流を図ることで、後継者としての素質を高めることができた。 商店街をつくり子ども達に商売を教え、親子イベントで子育て世帯の手助けをすることで、青年部活動・部員の自社・地域商工業者を認知してもらい、地元での消費につながり、また自社を見つめ直すきっかけとなった。 他地域の話や講演を聴くことで、地域商工業発展のための素質を高めることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。 講演会については、更なる出席率の向上に努める。		
					目標数値	10	実績数値		11	目標数値	80（％）					実績数値		90.9	A	A	現行どおり		現行どおり	
						10	実績数値		11		目標数値					80（％）		実績数値	90.9	目標達成度	必要性		実施方法①	実施方法②
																				A	A		現行どおり	現行どおり
地域産業祭事業 （長久手市商工まつり）	地域内事業者数並びに人口が増加している中、まつりの集客力を活かし地域コミュニティの活性化を図り、本市内の商工業を地域住民へ紹介・PRすることを目的とする。	11/17にモリコロパーク内で『長久手市商工まつり』を開催。事業所の出店ブースや企業紹介コーナーを14店舗設置し、来場者へのPR及び情報提供を行った。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）ならびに住民	指標	来場者数 （達成度 120.0 %）			指標	出店件数 （達成度 93.3 %）			催事を通して地域内事業者（商工会員）の事業内容等をPRすることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。 地域の更なる活性化に努める。		
					目標数値	5,000	実績数値		6,000	目標数値	15					実績数値		14	A	A	現行どおり		現行どおり	
						5,000	実績数値		6,000		目標数値					15		実績数値	14	目標達成度	必要性		実施方法①	実施方法②
																				A	A		現行どおり	現行どおり
観光振興事業 （長久手古戦場まつり）	地域振興の一助として、本市の恵まれた歴史的財産を活かした観光事業を行う。本市を『小牧長久手の戦い』の長久手として広くPRするとともに、住民間に交流の場を提供し地域活性化と文化振興に寄与する。	4/7に長久手古戦場で行われた、実行委員会方式による長久手古戦場まつりに、模擬店等により事業参加し、国指定史跡の古戦場を広くPRした。	小規模事業者を中心とする地域内事業者ならびに住民	指標	来場者数 （達成度 266.7 %）			指標	（達成度 %）			歴史的財産と市の特性を活用し、地域振興の一助として地域資源・観光資源の周知するとともに来場者へふれあいの場を提供することができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和7年度は、まつり会場として利用している古戦場資料館の改築により、会場となる場所が確保できないため実施しない。		
					目標数値	3,000	実績数値		8,000	目標数値						実績数値			A	A	廃止			
						3,000	実績数値		8,000		目標数値							実績数値		目標達成度	必要性		実施方法①	実施方法②
																				A	A		廃止	
商店街振興事業 （ながくて商店街事業）	インターネットモール「ながくて商店街事業」の維持管理運営・登録店の随時募集を行い、地域商工業のPRに寄与する。	インターネットモール「ながくて商店街」を運営し、登録会員事業所のこだわり・自慢・オスমেを紹介した。最新情報をいち早く提供することで、参加登録店のPRと地域事業者の活性化を図った。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）	指標	登録店数 （達成度 113.0 %）			指標	（達成度 %）			参加登録店の窓口・案内役として、市内の方へ多くの情報発信ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。 更に「ながくて商店街」のPR強化に努める。		
					目標数値	300	実績数値		339	目標数値						実績数値			A	A	現行どおり			
						300	実績数値		339		目標数値							実績数値		目標達成度	必要性		実施方法①	実施方法②
																				A	B		現行どおり	
観光振興事業 （イベント支援事業）	地域内事業者がモリコロパーク等で開催されるイベントに参加する。来場された方々をもてなしながら同時に長久手市をPRし、地域事業者の活性化を図ることを目的とする。	参加予定であったイベント（クラシックカーフェスティバル）が、モリコロパーク20周年記念イベント開催期間に併せて開催することとなったため、令和6年度中に開催されず事業を行うことができなかった。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）ならびに住民	指標	出店延件数 （達成度 - %）			指標	（達成度 %）			—	総合評価	—	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行通り実施。 （令和7年度はイベント開催が決定している。）		
					目標数値	8	実績数値		—	目標数値						実績数値			—	—	現行どおり			
						8	実績数値		—		目標数値							実績数値		目標達成度	必要性		実施方法①	実施方法②
																				—	—		現行どおり	
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や部活動等で、部員事業の活性和本人の健康の増進を図る。また、社会福祉等を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	部員の加入促進、商工会事業参加、地域活動等（愛知駅伝・ゴミ拾い）を行った。部員の資質向上のための講習会や、部員間の交流を深めるための事業を開催。	小規模事業者を中心とする青年部・女性部員	指標	部員数 （達成度 123.9 %）			指標	（達成度 %）			地域に根ざした活動を展開し、地域振興と“まち”の活性化に寄与した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行通り実施。 部員の加入促進に努める。		
					目標数値	46	実績数値		57	目標数値						実績数値			A	A	上げる			
						46	実績数値		57		目標数値							実績数値		目標達成度	必要性		実施方法①	実施方法②
																				A	B		現行どおり	

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：長久手市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														備考				
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	C	事業実施評価の側面	A B C D評価					今後の展開・改善点等			
福利厚生事業 （会員親睦ゴルフ大会）	会員事業者を対象にゴルフ大会を行い、事業者の福利厚生に寄与するとともに会員同士の交流親睦を図る。	例年開催している時期で日程調整ができず事業を行わなかった。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）	指標	参加者数 （達成度 0.0 %）			指標	（達成度 %）					—	総合評価	C	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①
				目標数値	30	実績数値	0	目標数値	実績数値	実績数値	D	—	必要性					令和6年度は日程調整ができず事業を行わなかったため。		実施方法①	実施方法②	
																				現行どおり	現行どおり	
福利厚生事業 （中小企業等共済事業）	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度を普及推進する。企業の健全な育成に資することを目的とする。	定期的に各種共済（小規模企業・倒産防止・特定退職金・中小企業退職金・中小企業共済等）の推進を行う。小規模事業者のニーズにあった商品を巡回窓口指導時等に提案することで加入促進を図った。	小規模事業者	指標	加入者数 （達成度 105.4 %）			指標	（達成度 %）			企業者の事業にあった共済制度を勧め、共済加入で事業主の生活安定と雇用対策・労務改善等を図ることができた。また共済の収益事業により商工会の自己財源確保に効果があった。	総合評価	A	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。各種共済の加入促進を勧め事業者の経営の安定化を図り、また自己財源確保に努める。
				目標数値	700	実績数値	738	目標数値	実績数値	実績数値	A					目標達成度		必要性	A	実施方法①	実施方法②	
																				現行どおり	現行どおり	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他、労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、中小企業事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	労働保険事務組合としての委託業務 年度更新：概算保険料及び確定保険料の申告・納付 3期ごとの保険料徴収及びその納付 委託、委託解除及び各種変更手続き	小規模事業者を中心とする地域内事業者	指標	委託事業者数 （達成度 106.5 %）			指標	（達成度 %）			事業主の委託を受けて労働保険の事務を処理することで、事業主の事務軽減につながった。	総合評価	A	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。事業主の行うべき事務処理の負担軽減を図るための事業として、今後も利用者の拡大にあたる。
				目標数値	200	実績数値	213	目標数値	実績数値	実績数値	A					目標達成度		必要性	A	実施方法①	実施方法②	
																				現行どおり	現行どおり	
部会・委員会	商業、工業の各部会・NMC委員会（青年部〇B）の活動・研修事業等で、市内事業者の活性化を図る。	・委員会 6回 ・部会 1回	小規模事業者を中心とする商業・工業部員・NMC委員	指標	部会等開催数 （達成度 70.0 %）			指標	（達成度 %）			イベント事業に協賛し消費者への還元や地域振興・街づくりに寄与することができた。	総合評価	B	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施するが、中止となるイベント事業があるため、部会開催数を減らす。
				目標数値	10	実績数値	7	目標数値	実績数値	実績数値	B					目標達成度		必要性	A	実施方法①	実施方法②	
																				現行どおり	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。